

男女共同参画センターだより

令和元年度 高槻市男女共同参画フォーラムを開催しました

【開催日】 2月15日(土) 午後1時30分～午後4時30分

【会場】 クロスパル高槻8F イベントホール

令和元年度は「ジェンダーの壁を打ち破って～女性が歴史を変える瞬間(とき)」をテーマに、第1部は上映会「ビリーブ～未来への大逆転～」を、第2部は「映画界における元気な女性たち」と題して松井寛子さん(映画宣伝プロデューサー)に映画界で活躍する女性たちについてお話しいただきました。

副実行委員長による
インタビュー形式での進行映画宣伝プロデューサー
松井寛子さん

(c) 2018 STORYTELLER DISTRIBUTION CO., LLC.

第1部 上映会「ビリーブ 未来への大逆転」(監督：ミミ・レダー、2018年、アメリカ)

「ビリーブ 未来への大逆転」はアメリカの最高裁判事を現役で務めるルース・ベイダー・ギンズバーク氏の半生を映画化した作品です。1970年代のアメリカを舞台に、誰もが絶対に負けるといった裁判に挑んだ彼女の姿は、2020年を生きる私たちにも勇気を与えてくれました。

男女共同参画センターでDVDの貸出しをしていますので、見逃した方はぜひご覧ください。

第2部 アフタートーク「映画界における元気な女性たち」

登壇者：松井寛子さん
(映画宣伝プロデューサー)

第2部では、映画宣伝プロデューサーの松井寛子さんをお迎えし、映画界の現状についてお話しいただきました。プロデューサーや監督、脚本家、カメラマンなど男性主流のイメージが強い映画界ですが、松井さんのお話によると、今や、女性の力がなければ映画が作れない、というくらい女性が活躍する業界になっているとのことでした。映画界の流れが、他の業界にも広がり、性別に関わらず、それぞれの個性と能力が十分に発揮できる社会になることが望まれます。



- ・強い意志を持った女性像がかっこよく、平等について改めて考えさせられました。
- ・1970年代の実話が2018年に映画になる、なかなかジェンダー平等には時間を要するが、着実に世の中は変化してきている。
- ・アメリカでも「男女平等」の法的認定がつい最近であったことに驚いた。